

真偽問題 正しいものは「1」、正しくないものは「2」にマークしなさい。

- 問(1) 短音階には、上行・下行で音が異なるものがある。
- 問(2) 音が伝わる速度は、空気中では常に一定である。
- 問(3) ワルツは3拍子の楽曲であり、日本語の名称は円舞曲である。
- 問(4) ピアノソナタ「月光」の作曲者は、リストである。
- 問(5) ピアノ曲「幻想即興曲」の作曲者は、ショパンである。
- 問(6) テーラーの公式では、弦の長さは振動数に比例する。
- 問(7) 鍵盤材の樹種としては、スプルーースやトウヒが用いられる
- 問(8) 1台のピアノの中では、センターピンの番手は1種類に統一されている。
- 問(9) ピアノの弦の総張力は、およそ20トンである。
- 問(10) 低音部の打弦比は、1/8程度である。
- 問(11) 長3度の音程比は、5:8である。
- 問(12) 49A付近では、1Hzが約4セントに相当する。
- 問(13) 音叉は、倍音が豊かなため、ピッチ採りに用いられる。
- 問(14) ピタゴラスコンマは、22セントである。
- 問(15) ピアノ調律では、最高音域は半音の1/2以上高めの調律カーブになる。
- 問(16) グランドピアノで、ハンマー戻り（ドロップ）を変更しても、ハンマー接近（レットオフ）は変化しない。
- 問(17) ブライドルワイヤーの左右の調整は、ワイヤーの上部を曲げて調整する。
- 問(18) アップライトピアノのダンパー総上げは、スプーン掛け（ダンパー始動点の調整）に先立って調整する。
- 問(19) ハンマー接近（レットオフ）は、低音では広め、高音では狭めに調整する。
- 問(20) アップライトピアノのキャブスタンボタンを奥方向に調整すると、ハンマー接近（レットオフ）が広がる。
- 問(21) 張弦の際、弦のコイルは、弦を打ち下ろしてから引き上げて密着させる。
- 問(22) 白鍵上面（アクリル樹脂製）を剥がすときは、アイロンで加熱する。
- 問(23) アップライトピアノのバックチェックフェルト貼替は、フェルトの全面を接着する。
- 問(24) チューニングピンがゆるい場合の修理用として、チューニングピンにはオーバーサイズがある。
- 問(25) 自動演奏ピアノは、ピアノのタッチの特性上、MIDIデータによる記録・再生はできない。

多肢択一（3 択）問題

各問から、適切なものを 1 つ選びなさい。2 つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) ニ短調の説明として、正しいものを 1 つ選べ。

1. 調号は、 \flat が 1 つである。
2. 同主調は、 \flat 長調である。
3. 属音は、G である。

問(27) 音波の説明として、正しいものを 1 つ選べ。

1. 音波は、横波として空気中を伝わる。
2. 音波の波長が長い方が、音が低い。
3. 音波の振幅が大きい方が、音が高い。

問(28) 倍音の説明として、正しいものを 1 つ選べ。

1. 偶数倍の倍音は、基音に対しオクターブの関係となる。
2. 各倍音の波形は、それぞれ正弦波・矩形波・のこぎり波などの別がある。
3. 倍音の含まれ方の違いが、楽器の音色の違いとなる。

問(29) ピアノの発達史で壺型ピアノに関する年を 1 つ選べ。

1. 1783年
2. 1800年
3. 1802年

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、記述内容が一番適切なものを選べ。

1. 常温では、湿度が 50～70% が最適である。
2. 床暖房がピアノにとって、最適な暖房である。
3. アクリル樹脂製の白鍵の消毒は、アルコールを使用する。

問(31) ミュージックワイヤーについて、正しいものを 1 つ選べ。

1. 素材は、炭素鋼である。
2. 鋼鉄製のダイスで、鋼引きされて製造される。
3. 工業用のピアノ線と同じものである。

問(32) 弦長について、正しいものを 1 つ選べ。

1. 振動する弦の長さと言波の波長は、同じ長さとなる。
2. チューニングピンからヒッチピンまでを有効弦長という。
3. 最高音の有効弦長は、およそ 5 cm である。

問(33) 響板について、正しいものを 1 つ選べ。

1. 響板は、板目になるように木取りする。
2. 響板には、音の伝播速度の速い樹種を用いる。
3. 響板には、比重の大きい樹種が用いられる。

問(34) 次の記述から、正しいものを 1 つ選べ。

1. フレームの素材は、主に鋼鉄である。
2. フレームは、各部を溶接により接合して組み立てる。
3. フレームの製造方法に、バキューム・プロセス（Vプロセス）という鋳造方法がある。

問(35) セント法について、正しいものを 1 つ選べ。

1. ヘルムホルツにより考案された。
2. 1 オクターブは、800セントである。
3. セント法は、対数計算に基づく。

問(36) 平均律割り振りについて、正しいものを 1 つ選べ。（基音は 37A。音域は、33F～45F とする。）

1. 33F-37A の唸りが基準より少ない場合、33F は低めにずれている。

2. 37A-42Dの唸りが基準より少ない場合、42Dは低めにずれている。
3. 37A-44Eの唸りが純正の場合、44Eは低めにずれている。

問(37) 音律に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 純正調長音階では、すべての協和音程が純正となる。
2. 純正調長音階の主和音の長3度は、386セントである。
3. ミーントーンの完全5度は、純正である。

問(38) 低音のオクターブの検査音程に用いる短3度：長6度について、正しいものを1つ選べ。

1. 短3度：長6度の唸りの回数が1：1となる場合、オクターブは正確である。
2. 短3度：長6度の唸りの回数が1：2となる場合、オクターブは正確である。
3. 短3度：長6度の唸りの回数が1：3となる場合、オクターブは正確である。

問(39) 共通倍音に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 37A-42Dの共通倍音は、49A付近である。
2. 37A-42Dの共通倍音は、54D付近である。
3. 37A-42Dの共通倍音は、61A付近である。

問(40) アクションの整調工程として、関連が一番深いものを選べ。

1. 鍵盤の高さ（ならし）とハンマーストップ（バックストップ）
2. 鍵盤の深さ（あがき）とハンマーストップ（バックストップ）
3. ハンマー接近（レットオフ）とハンマーストップ（バックストップ）

問(41) 1回の打鍵で、ハンマーが2度打ちする場合、その原因として考えられるものを1つ選べ。

1. 鍵盤の深さ（あがき）が、浅すぎる。
2. アップライトピアノのバットスプリングの働きが強すぎる。
3. カラ直し（ロストモーション）の調整で、過度の突き上げ状態。

問(42) ペダルについて、一番適切なものを選べ。

1. ダンパーペダルのストロークを半分踏み込んだ位置で、ダンパーが作動するように調整する。
2. グランドピアノの左のペダルを踏むと、アクション全体がシフトする。
3. アップライトピアノのソフトペダルを踏み込むと、打弦距離が約半分になる。

問(43) タッチについて、正しいものを1つ選べ。

1. ダンパーによる止音は、鍵盤の深さを約1/3戻した位置で止音する。
2. 鍵盤の深さは、すべて10mmに統一されている。
3. グランドピアノの連打性能（1秒間の連打回数）は、アップライトピアノの約2倍である。

問(44) カラ直し（ロストモーション）調整の説明として、一番適切なものを選べ。

1. ジャック先端とバットスキンの隙間を調整する工程である。
2. レギュレチングボタン（スクリュウ）とウイペンヒールクロスとの隙間を調整する工程である。
3. カラのある状態を正常化すると、打弦距離が変化する。

問(45) 工具について、正しいものを1つ選べ。

1. 弦の三つ割は、アップライトピアノとグランドピアノでは異なる。
2. 音叉は一度調整すれば、振動数を一定に保てる。
3. センターピンと弦を切るカッターは兼用できる。

問(46) ミュージックワイヤーの番手について、正しいものを1つ選べ。

1. 最高音部には、15番手前後が用いられている。
2. 18番手は、1.025mmである。
3. 断線対策として、太い番手の弦を用いる。

問(47) 修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 断線は、弦の不良ないし錆であるため、弦を交換すれば切れなくなる。
2. バットフェルトの接着は、フェルトの上半分に接着剤を塗る。
3. アップライトピアノのハンマーシャンクが折損した場合、ハンマーは再使用する。

問(48) センターピン交換の方法として、正しいものを1つ選べ。

1. トルクの調整は、ブッシングクロスにリーマーをかけて調整する。
2. センターピンと木部の嵌合具合は、抵抗なく挿入できる程度が良い。
3. センターピンのカットは、フレンジの幅よりわずかに短くする。

問(49) 鍵盤スティックで以下の3つの中で、最初に点検・調整する部位を選べ。

1. バランスホール。
2. バランスブッシングクロス。
3. フロントブッシングクロス。

問(50) 消音型のアップライトピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。

1. ハンマーストップ（バックストップ）は、生ピアノより広めである。
2. ハンマー接近（レットオフ）は、生ピアノより広めである。
3. 鍵盤の深さ（あがき）は、生ピアノより深めである。